

食材や給食に携わる人々に感謝！学校給食週間

1月26日(月)~30日(金)は、学校給食週間でした。今年度のテーマは、「北陸新幹線に乗って特産物を知ろう」。子供たちは、新幹線停車駅周辺の特産物を使った珍しくておいしい給食を食べたり、献立や食材の紹介を聞いたりしながら食への関心を高めました。また、給食標語を書いたり、栄養士さん・調理員さんへのお手紙を会食のときに渡したりして、感謝の気持ちを表しました。五年生は、調理員さんと一緒に運搬車の片付けをし、調理員さんの仕事の大変さをほんの少し味わいました。子供たちにとって給食を見直す有意義な1週間になりました。

〈感謝の手紙より〉

- 私は、給食が大好きです。給食を食べ終わったらすぐに元気いっぱいになります。昼休みは、いっぱい楽しく遊べます。
- いつも寒い調理室でおいしい給食を作ってくださいありがとうございます。お母さんが作るカレーよりも学校のカレーの方がおいしいです。ピーマンが苦手だったけど、学校のピーマンだと食べられました。よかったです。
- 「給食のお味噌汁は、本物の出汁を取っている」「スープも野菜の旨味を引き出している」と聞きました。調理員さんの手間がかかっていると思いました。作っている人へのありがたみを感じながら味わいます。
- いつも、栄養があってバランスのいい給食を作ってくださいありがとうございます。家では、あまり食べない野菜も学校では食べることができます。たくさんのことに気を付けながら丁寧に作ってあるので安心して食べることができます。



〈5年生の片付け体験〉



〈調理員さんとの会食〉

5年生 晴天の中のスキー学習

1月14日(水)にタカンボスキー場にて、5・6年生合同のスキー学習がありました。当日は晴天に恵まれ、新雪の中で楽しくスキーをすることができました。5年生は半分以上の子供たちがスキーをするのが初めてでした。子供たちは初めてのことに期待する気持ちとうまく滑ることができるのかという不安な気持ちが入り交じっている様子でした。しかし、講師の先生の話をよく聞きながら一生懸命練習に取り組んだり、班の友達と励まし合ったりしたことで、だんだん上達していきました。自然の中で、一日中思いっきり体を動かした経験は、きっと子供たちの思い出に深く残ったことでしょう。また、雪国に生まれた子供たちにとって、スキーを身近に感じることでできた有意義な一日になりました。



「ボーゲンでたくさん滑ったよ」

子供たちの感想

- ・ ぼくは今日生まれて初めてスキーをしました。初めてスキーをしたけれど、講師の先生に「上手！」とたくさん褒めてもらったのがとてもうれしかったです。また、友達との信頼関係も深まったように思います。来年もスキー学習があるので、次の班でも信頼関係を強めていきたいらいいと思います。
- ・ 私は久しぶりにスキーをしました。久しぶりだったので、班の人のスピードについていけなかったり、転んだりしてしまって、班の人に迷惑をかけてしまったと思いました。でも、「大丈夫!」「ファイト!」と応援してくれたのでとても嬉しかったです。友達に心から感謝した一日にもなりました。
- ・ 頂上の景色がとてもきれいでした。友達と「きれいやね」といいながら楽しく滑りました。友達と声をかけ合い、励まし合いながら滑った経験は、かけがえのないものと感じました。来年も楽しい行事の一つだなと思いました。



「初めてリフトに乗ったよ」

